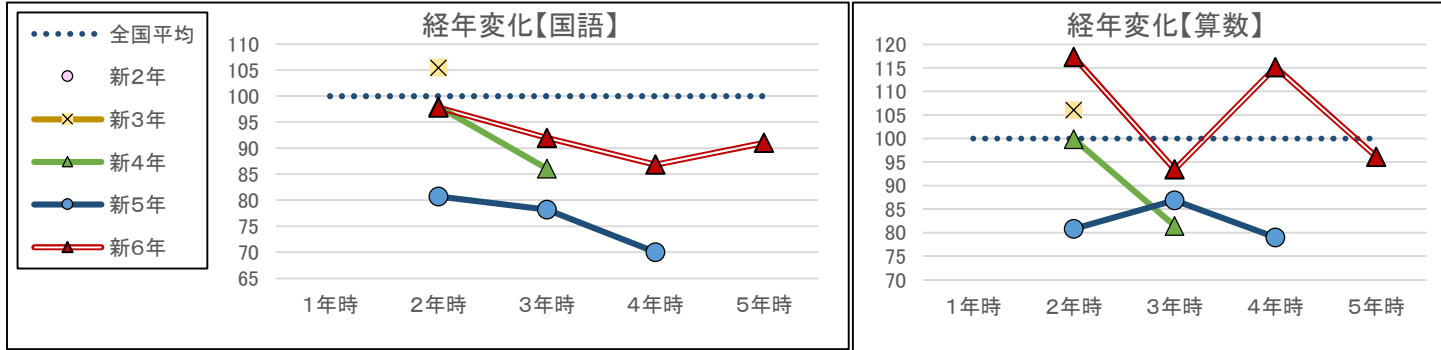


I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）

※釧路市では、3～6年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に●年生においても実施しています。



② 学校の状況

《6年生 生活行動・学習活動調査の結果より》
 ○「勉強にパソコン（インターネットを含む）を利用している」の質問に肯定的に答えた児童の割合は65.0%であり、これは全国平均を+28.0P上回っている。
 ▲『夜は、時刻を決めて寝ている』『朝食は、家の人と一緒に食べている』の質問に肯定的に答えた児童の割合が50%を下回り、全国平均よりも15P以上下回った。生活リズムのうち、「早寝・朝ご飯」が身につけていないことがうかがえる。
 ▲「本（漫画や雑誌を含まない）を読んでいる」の質問に肯定的に答えた児童の割合は15.0%であり、全国平均比-47.1Pと大きく下回った。家庭で読書をする習慣がないことがうかがえる。

《各種校内調査の結果より》
 ・『学習習慣チェック』で「家庭での学習（宿題も含めて、学年×10+10分）に取り組んでいる」の質問に肯定的に答えた児童の割合は、1年生100.0%、2年生は95.0%であったが、3年生50.0%、4年生45.8%、5年生59.1%、6年生50.0%であった。学年に応じた、学習時間に取り組めていないことがうかがえる。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめや振り返りなどの場面で、低学年は「自分の思いを書くこと」、中、高学年は「定められた条件の下、文章を書く」活動に年間を通して取り組み、書く力を高める。 子どもが自分の考えを持ち、他者との交流を経ることで、自分の考えを深める経験を積ませる。 子どもが式、図、資料などの根拠をもちながら、相手意識をもって分かりやすく説明する力を高める。 子どもが上記の経験をしたり、力の高まりを感じているかの評価を通して、教師は定期的に自身の指導を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の学習規律の指導に加え、「釧路市授業スタンダード」に示されている学習規律が達成できているか、子どもたち自身が振り返ることで、学習規律の徹底を図る。 Q-U、アセス、いじめアンケート実施後「児童理解研修」を行い、生徒指導上の課題や、その解決に向けた方策について検討、交流する。 誰かが話しているときはあいづちをうつ、目線を向けるなど、聞く側の姿勢について指導し、暖かい雰囲気での授業が行われるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な学力を定着させることを目的とし、朝学習では進出漢字の習得や、計算力の向上に取り組む。 放課後学習は、1st・2ndシーズンは当該学年の学習内容の定着、3rdシーズンは学力調査の結果から得た課題の克服を目指して行う。 学習習慣の定着のために、毎日の家庭学習の提出率100%を目指す。

② 各学年の指導の重点

1年生の重点	4年生の重点
<p>【国語】ひらがな・かたかなの早期定着や、配当されている漢字の定着、読み聞かせなどを通して、言語の感覚を育む。また、自分の考えを文章で表す活動を通して、書く力を伸ばしていく。</p> <p>【算数】具体物を操作する活動など、体験を踏まえた活動を多く取り入れ、数量の感覚を育む。</p>	<p>【国語】繰り返し読む経験を増やし、書かれてある内容について互いに考えを確かめたり、比べたりする指導を通して、読解力を高めていく。また、定められた条件の下で文章を書く活動を年間を通して取り入れ、書く力を伸ばしていく。</p> <p>【算数】図形領域など、前学年での定着が不十分な領域については、問題に繰り返し取り組んだり、なぜ間違えたのかを考えさせる指導を行う。また、計算問題などアウトプットの機会を増やし、計算力の定着を図る。</p>
2年生の重点	5年生の重点
<p>【国語】音読などを通して読むことへの抵抗感を減らし、読解力を高めたり、一つでも多くの語彙を獲得することを目指す。また一年間を通して、自分の思いや考えを書く活動を取り入れ、書く力を伸ばしていく。</p> <p>【算数】具体物や半具体物の操作活動を取り入れ、体験を通して量感を育む。また、計算問題や時刻・時間に関する問題に繰り返し取り組み、定着を図る。</p>	<p>【国語】自分の読み取りを友だちと比べるなどの活動を多く取り入れ、一人ひとりの文章を読み取る力を高める。また、定められた条件の下で文章を書く活動を、年間を通して取り入れ、書く力を伸ばしていく。</p> <p>【算数】前学年で定着が不十分な領域の問題に繰り返し取り組むなど、アウトプットの機会を増やし、基礎・基本の定着を図る。また、成功経験を積み上げ、子ども自身が「成長している」と実感できるような授業を行う。</p>
3年生の重点	6年生の重点
<p>【国語】言葉に着目しながら読み進めることで、文章全体を通して何が書かれているのかを捉えられるようにする。また定められた条件の下で文章を書く活動を年間を通して取り入れ、書く力を伸ばしていく。</p> <p>【算数】繰り返し練習することを通して、計算力を高める。また、考えを文や式で説明する問題など、様々な形態の問題に取り組むことで、基礎・基本を活用して考える力を高める。</p>	<p>【国語】文章や話し合いの内容の要点をとらえる活動を通して、読む力・聞く力を伸ばしていく。また、考えの根拠となる資料を引用するなど、定められた条件の下で書く活動を年間を通して取り入れ、書く力を伸ばしていく。</p> <p>【算数】前学年で定着が不十分な領域や、新たに6年生で獲得する概念を活用する問題に繰り返し取り組むなど、アウトプットの機会を増やす。またまた、自分の考えを式や図を用いて説明する活動を意図的に増やし、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>